

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称：

レジオスター-S 配管洗浄剤 B剤

製品名称：

製品番号 (SDS NO) : T03298

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途：洗浄剤

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称：サイブ株式会社

住所：〒812-0017 福岡市博多区美野島3丁目14-6

担当部署：品質保証部

電話番号：092-292-1874

FAX：092-292-8777

e-mail saibu-n@saibu-n.co.jp

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性

酸化性固体：区分 3

健康に対する有害性

急性毒性(経口)：区分 4

皮膚腐食性/刺激性：区分 1

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：区分 1

環境有害性

水生環境有害性 短期(急性)：区分 3

GHSラベル要素



注意喚起語：危険

危険有害性情報

火災助長のおそれ：酸化性物質

飲み込むと有害

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

水生生物に有害

注意書き

安全対策

環境への放出を避けること。

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

衣類及び可燃物から遠ざけること。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

火災の場合：指定された消火剤を使用すること。

- 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 皮膚(又は髪)に付着した場合：直ちに医師に連絡すること。
- 皮膚(又は髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
- 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
- 眼に入った場合：直ちに医師に連絡すること。
- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- 口をすすぐこと。
- 飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。
- 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
- 保管**
施錠して保管すること。
- 廃棄**
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：
混合物

成分名	含有量 (%)	CAS No.	化審法番号
炭酸ナトリウム/過酸化水素化物	非公開	15630-89-4	1-143; 1-419; 1-164
炭酸ナトリウム	<8.0	497-19-8	1-164
ラウリル硫酸ナトリウム	<1.0	登録済	登録済

不純物および安定化添加物
なしと推定される。

4. 応急措置

吸入した場合

被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動させる。必要があれば人工呼吸または酸素吸入等を行い、安静保温につとめ医療措置を受ける手配をする。

皮膚(又は髪)に付着した場合

汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぎ捨てる。アルカリ製品なので、微温湯を流しながら、皮膚刺激やぬるぬるする感じがなくなるまで洗浄を続ける。不十分だと皮膚の障害を生じる恐れがある。十分洗浄した後、直ちに医療措置を受ける手配をする。

眼に入った場合

清浄な水で最低15分間眼を洗浄した後、直ちに眼科医の手当を受ける。
洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたの隅々まで水がよく行きわたるように洗浄する。一刻も早く洗浄を始め、目に入った製品を完全に洗い流さないと目の傷害を生ずるおそれがある。

飲み込んだ場合

腐食性の製品なので、吐き出させると反って危険を増す。直ちに医療措置を受ける手配をする。水で口腔内を十分に洗浄し、コップ1～2杯の水、牛乳又は食酢を与えて胃内を薄めても良い。被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはならない。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

大量の水を用いる

使ってはならない消火剤

粉末、二酸化炭素、泡消火剤は無効である。

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

火元への燃焼源の供給を速やかに断ち、消火剤で消火する。周囲の設備等に散水して冷却する。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

消火活動は風上から行い、有毒なガス、煙等の吸入を避ける。状況に応じて適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

ばく露防止のため、保護具(項目8参照)を着用して作業を行う。必要に応じて換気を行う。

環境に対する注意事項

漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。

除去方法(回収、中和等)

少量の場合、ウエス・雑巾などでよくふき取る。

多量の場合、掃き集めて回収し、その後を多量の水を用いて洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

適切な保護具を着用し、皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、目に入らないようにする。

安全取扱注意事項

作業場の換気は十分に行う。漏れ、あふれ、飛散しないようにする。

接触回避

アルカリ性なので酸性薬剤との接触を避ける。

保管

安全な保管条件

直射日光を避け、冷暗所に保管する。周辺での火気の使用を禁止する。

通気性の良い屋内で密閉して保管する。

安全な容器包装材料

製品に使用している容器に準ずる。

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度、濃度基準値：データなし

許容濃度

日本産衛学会の許容濃度：データなし

ACGIH 許容濃度：データなし

ばく露防止

設備対策

取り扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。適切な排気設備を使用する。

保護具

呼吸用保護具

防塵マスク、防毒マスク等を着用する。

手の保護具

ゴム製保護手袋を着用する。

眼の保護具

普通眼鏡型又はゴーグル型の保護眼鏡を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護服、保護長靴、保護前掛け等を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態：粉体

色：白色

臭い：微臭

融点/凝固点：データなし

沸点又は初留点：データなし

沸点範囲：データなし

可燃性(ガス、液体及び固体)：データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：データなし

引火点：データなし

自然発火点：データなし

分解温度：データなし

pH：データなし

動粘度：データなし

動粘性率：データなし

溶解度：

水に対する溶解度：易溶

溶媒に対する溶解度：データなし

n-オクタノール/水分配係数：データなし

蒸気圧：データなし

蒸気密度：データなし

密度及び/又は相対密度：データなし

相対ガス密度(空気=1)：データなし

粒子特性：データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

反応性：データなし

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

異物質(金属類、酸性物質、水分)の混入は分解を促進する。

避けるべき条件

屋外及び湿気のある場所での保管。加熱。酸性薬剤との接触。

混触危険物質

他の薬剤とみだりに混合しない。

危険有害な分解生成物

分解により酸素、過酸化水素が発生する。

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[会社固有データ]

ラット他 LD50 1,035mg/kg * 1

急性毒性(経皮)

[日本公表根拠データ]

(ラウリル硫酸ナトリウム)

rabbit LD50=ca. 200mg/kg (SIDS, 2009)

急性毒性(吸入)

[日本公表根拠データ]
 (炭酸ナトリウム)
 mist: rat LC50=1.2mg/L/4hr (SIDS, 2008)

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

皮膚に対して、強度の刺激がある。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

眼に対して、強度の刺激がある。

呼吸器感作性又は皮膚感作性：データなし

生殖細胞変異原性：データなし

発がん性：データなし

生殖毒性：データなし

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[区分3(気道刺激性)]

[日本公表根拠データ]

(炭酸ナトリウム)

気道刺激性 (SIDS, 2008)

[区分3(麻酔作用)]

[日本公表根拠データ]

(炭酸ナトリウム)

麻酔作用 (SIDS, 2008)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)：データなし

誤えん有害性：データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

水生環境有害性 短期(急性)

[会社固有データ]

魚類 ファットヘッドミノー他 LC50 18mg/L * 1

水生環境有害性 長期(慢性)

[日本公表根拠データ]

(ラウリル硫酸ナトリウム)

甲殻類 (ネコゼミジンコ) NOEC (繁殖)=0.88mg/L/7days (SIDS, 2009)

水溶解度

(炭酸ナトリウム/過酸化水素化物)

よく溶ける (14 g/100ml, 20°C)

(炭酸ナトリウム)

0.53 g/100 ml (PHYSPROP_DB 2008)

(ラウリル硫酸ナトリウム)

溶ける (15 g/100 ml, 20°C (ICSC, 1997))

残留性・分解性

(ラウリル硫酸ナトリウム)

急速分解性あり (BOD分解度=85.0%/14 days; TOC分解度=99.3%/14 days (J-CHECK 2016))

生体蓄積性

(ラウリル硫酸ナトリウム)

log Kow = 1.6 (PHYSPROP DB, 2008)

土壌中の移動性

土壌中の移動性：データなし

他の有害影響

オゾン層への有害性：データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
廃棄物の処理方法

残余廃棄物及び汚染容器は廃棄物処理法に従って処理する。

汚染容器及び包装

内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号またはID番号 : 3178

正式輸送名 : その他の可燃性固体、無機物、N.O.S.

分類または区分 : 4.1

容器等級 : III

指針番号: 133

特別規定番号 : 223; 274

IMDG Code (国際海上危険物規程)

国連番号またはID番号 : 3178

正式輸送名 : その他の可燃性固体、無機物、N.O.S.

分類または区分 : 4.1

容器等級 : III

特別規定番号 : 223; 274

IATA (航空危険物規則書)

国連番号またはID番号 : 3178

正式輸送名 : その他の可燃性固体、無機物、N.O.S.

分類または区分 : 4.1

危険性ラベル : Flamm.solid

容器等級 : III

特別規定番号 : A3; A803

環境有害性

海洋汚染物質 (該当/非該当): 非該当

特別の安全対策

容器が破損しないように乱暴な取り扱いを避ける。荷崩れ防止を確実に行う。

火気注意

MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質

有害液体物質(Z類)

炭酸ナトリウム

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法

酸化性物質類 酸化性物質 分類5 区分5.1

航空法

酸化性物質類 酸化性物質 分類5 区分5.1

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令
毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

特化則に該当しない

有機則に該当しない

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称表示危険/有害物

炭酸ナトリウム(令和7年4月1日施行) <8%
 名称通知危険/有害物
 炭酸ナトリウム(令和7年4月1日施行) <8%
 皮膚等障害化学物質(規則第594条の2)
 炭酸ナトリウム
 化学物質管理促進(PRTR)法
 化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。
 消防法に該当しない。
 化審法
 優先評価化学物質
 ラウリル硫酸ナトリウム(通し番号214 生態影響)
 大気汚染防止法
 該当しない
 廃棄物処理法
 該当しない
 土壌汚染対策法
 該当しない
 水質汚濁防止法
 該当しない
 化学安全性評価
 本製品の化学安全性評価は行なわれていない。

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
 Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN
 IMDG Code, 2022 Edition (Incorporating Amendment 41-22)
 IATA 航空危険物規則書 第65版(2024年)
 2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
 2024 TLVs and BEIs. (ACGIH)
 Supplier's data/information
 1) GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び
 安全データシート(SDS)(JIS Z 7253:2019)
 2) NITEのGHS分類データを参照。
 *1 原料SDSより推測(GHS方式にて計算)

責任の限定について

この情報は新しい知見に基づき、改訂されることがあります。記載内容のうち、含有量、物理/化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報・データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅したわけではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。